

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|---------------------------|--------|--------------|
| 建物名称 | 堺市立総合医療センター | 階数 | 地上9F、地下1F |
| 建設地 | 大阪府堺市 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 近隣商業地域、第一種中高層住居専用地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 4,000 人 |
| 気候区分 | | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途 | 病院 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2014年12月 0.0 | 評価の実施日 | 2012年11月2日 |
| 敷地面積 | 19,693 m ² | 作成者 | 日建設計一 建築士事務所 |
| 建築面積 | 8,411 m ² | 確認日 | |
| 延床面積 | 44,533 m ² | 確認者 | |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 89%
③上記+②以外の 89%
④上記+オフサイト手法 89%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.9

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|--|---|
| 総合 ■ 救急医療・高度専門医療の総合的に一体化をはかり明快な施設構成のなかに高い拡張性と医療環境の「ゆとり」を備え良質な医療を永続提供する。 ■ 大スパンが可能な鉄骨造を採用することでフレキシブルな構造躯体を実現し、医療体制の変化に対し柔軟に対応する。 | | その他 ■ 病棟は、十分な病室面積を確保し、各ベッドに窓を設け家具で仕切る事で、多床室の個室感覚を向上する。 ■ 「だんじり」のルートである東北2号線に面した敷地西側は歩道を拡幅し、積極的に緑化することで公団住宅当時からまちなみ継承を目指す。 |
| Q1 室内環境 ■ F☆☆☆☆を全面的に採用し、空気質環境に配慮する。 | Q2 サービス性能 ■ 基礎免震構造を採用する。 ■ 官庁施設の総合耐震計画基準の構造体分類のI類に相当。 ■ 十分な階高と空間のゆとりを確保する。 | Q3 室外環境(敷地内) ■ 敷地内に良好な緑を取り込むとともに、樹種は自生種を主にした計画とする。 ■ 敷地北西角に現病院のモニュメントを移設し、ポケットパークとして整備。 |
| LR1 エネルギー ■ 高効率機器を採用。 ■ 複層ガラス、庇の採用により、建物の熱負荷制御を行う。 | LR2 資源・マテリアル ■ F☆☆☆☆製品の全面的採用、不活性ガス消火設備の採用により、汚染物質含有材料の使用を回避する。 | LR3 敷地外環境 ■ 敷地の塀や擁壁は敷地境界から後退して設け、その間に植栽帯とすることで、歩道からの圧迫感を感じさせないよう配慮した。 ■ 敷地内への車の乗り入れは敷地 側と東側に限定し、北西のまちかど広場周辺は良好な歩行者空間を確保する。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



| | | | | |
|---------|----------|-------------------------------|-----|--------|
| 1. 建物概要 | 建物名称 | 堺市立総合医療センター | BEE | BEEランク |
| | 建設地 | 大阪府堺市西区津久野町 | 1.8 | A |
| | 主用途/延床面積 | 病院 / 44,533.00 m ² | | |

| 2. 重点項目への取組み | | |
|--------------------|-----|-----------|
| 重点項目 | 評価点 | 取組み度 |
| CO ₂ 削減 | 3 | ● ● ● ● ● |
| 省エネ対策 | 4 | ● ● ● ● ● |
| みどり・ヒートアイランド対策 | 3 | ● ● ● ● ● |
| 安全快適な暮らし | 4 | ● ● ● ● ● |

| 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア | | | | |
|------------------------|-------------------------------|---------|-----|-----|
| CO ₂ 削減 | 評価項目 | | スコア | 評価点 |
| 地球温暖化への配慮 | CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値 | | 3.4 | 3 |
| 省エネ対策 | 評価項目 | | スコア | 評価点 |
| 外皮性能 | CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値 | 建物全体 | 5.0 | 4 |
| | | 住居・宿泊部分 | 5.0 | |
| 建物の熱負荷抑制 | CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値 | | 4.2 | |
| 自然エネルギーの利用 | CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値 | | 3.0 | |
| 設備システムの高効率化 | CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値 | | 3.7 | |
| 効率的運用(集合住宅は対象外) | CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値 | | 3.0 | |
| 水資源保護 | CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値 | | 3.8 | |
| みどり・ヒートアイランド対策 | 評価項目 | | スコア | 評価点 |
| 生物環境の保全と創出 | CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値 | | 3.0 | 3 |
| 敷地内温熱環境の向上 | CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値 | | 4.0 | |
| 温熱環境悪化の改善 | CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値 | | 3.0 | |
| 安全快適な暮らし | 評価項目 | | スコア | 評価点 |
| バリアフリー計画 | CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値 | | 3.0 | 4 |
| 耐震・免震 | CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値 | | 5.0 | |
| 地域性への配慮、快適性の向上 | CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値 | | 4.0 | |
| 交通負荷抑制 | CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値 | | 3.0 | |

| 4. その他 | |
|----------|------|
| 技術の名称 | 考慮事項 |
| | |
| 特に配慮した事項 | |